

平成29年(2017年)12月の結果 (二人以上の世帯)

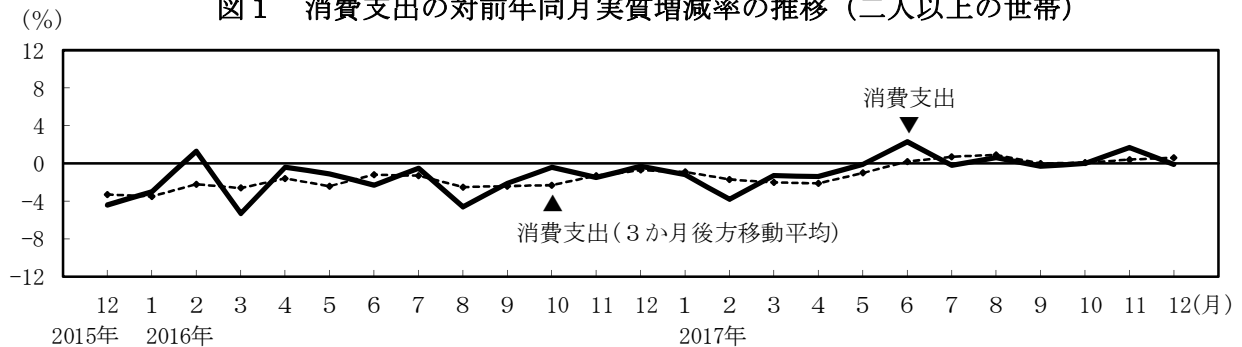
消費支出

・消費支出は、	1世帯当たり 322,157 円	
前年同月比	実質 0.1%の減少	名目 1.2%の増加
前月比(季節調整値)	実質 2.5%の減少	
・消費支出(除く住居等)は、	1世帯当たり 285,693 円	
前年同月比	実質 2.9%の増加	名目 4.2%の増加
前月比(季節調整値)	実質 1.2%の減少	

「住居」のほか、「自動車等購入」、「贈与金」、「仕送り金」を除いている。また、実質化には消費者物価指数(持家の帰属家賃を除く総合)を用いた。以下同じ。

1 消費支出の推移

図1 消費支出の対前年同月実質増減率の推移(二人以上の世帯)

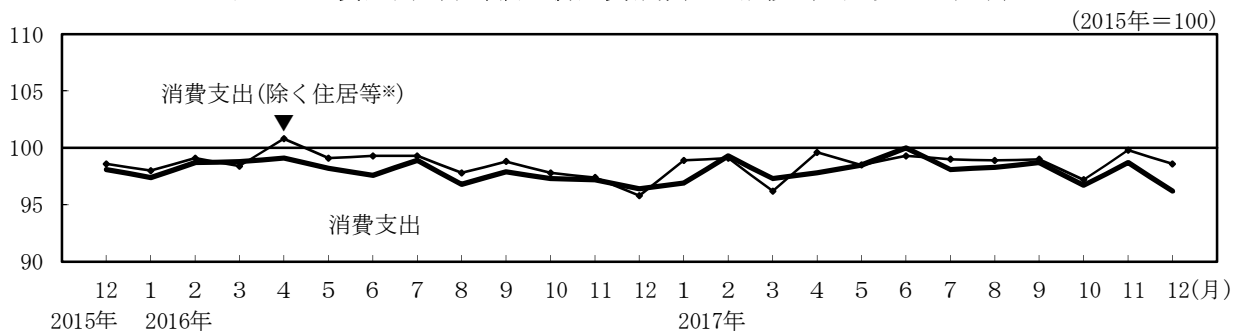


	2016年	2017年											
	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
消費支出	-0.3	-1.2	-3.8	-1.3	-1.4	-0.1	2.3	-0.2	0.6	-0.3	0.0	1.7	-0.1
消費支出(除く住居等)	-1.5	0.3	-3.7	-1.9	-1.3	-0.8	0.1	0.5	0.2	-0.7	-0.3	2.7	2.9
(参考)3か月後方移動平均													
消費支出	-0.7	-0.9	-1.7	-2.0	-2.1	-1.0	0.2	0.7	0.9	0.0	0.1	0.4	0.6
消費支出(除く住居等)	-1.2	-1.0	-1.7	-1.7	-2.2	-1.4	-0.7	-0.1	0.3	-0.1	-0.3	0.5	1.9

注 3か月後方移動平均は、さう勢的な動向を見るため、当月を含む直近3か月間の金額を平均した値である。

ここでは対前年同月実質増減率を表章している。

図2 消費支出(季節調整済実質指数)の推移(二人以上の世帯)



	2016年	2017年											
	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
消費支出	96.4	96.9	99.3	97.3	97.8	98.5	100.0	98.1	98.3	98.7	96.7	98.7	96.2
対前月変化率(%)	-0.8	0.5	2.5	-2.0	0.5	0.7	1.5	-1.9	0.2	0.4	-2.0	2.1	-2.5
消費支出(除く住居等)	95.8	98.9	99.1	96.2	99.6	98.5	99.3	99.0	98.9	99.0	97.2	99.8	98.6
対前月変化率(%)	-1.6	3.2	0.2	-2.9	3.5	-1.1	0.8	-0.3	-0.1	0.1	-1.8	2.7	-1.2

注1 季節調整の方法は、センサス局法(X-12-ARIMA)を用いた。

2 季節調整値は、毎年1月結果公表時に、過去に遡って改定している。

2 消費支出とその内訳

表1 消費支出の内訳（2017年12月 - 二人以上の世帯）

項 目	金 額 (円)	対前年同月増減率(%)		実質増減 率への 寄与度 (%)	摘 要	備 考
		名 目	実 質			
消 費 支 出	322,157	1.2	-0.1	-		3か月ぶりの実質減少
食 料	90,115	2.9	1.1	0.30	<増 加> 外食,調理食品など	2か月連続の実質増加
住 居	17,224	-23.2	-23.3	-1.64	<減 少> 設備修繕・維持,家賃地代	2か月連続の実質減少
光 熱 ・ 水 道	23,999	13.2	7.6	0.50	<増 加> 電気代,他の光熱など	2か月連続の実質増加
家具・家事用品	13,086	4.7	5.7	0.22	<増 加> 家庭用耐久財,家事雑貨など	2か月連続の実質増加
被 服 及 び 履 物	12,219	1.6	1.9	0.07	<増 加> 洋服,他の被服など	2か月連続の実質増加
保 健 医 療	14,787	13.1	11.3	0.46	<増 加> 保健医療サービス,医薬品など	4か月連続の実質増加
交 通 ・ 通 信	39,536	-1.9	-2.7	-0.33	<減 少> 自動車等関係費	3か月ぶりの実質減少
教 育	9,275	-8.5	-8.9	-0.28	<減 少> 授業料等	3か月ぶりの実質減少
教 養 娛 楽	31,744	5.9	5.5	0.52	<増 加> 教養娯楽サービス,教養娯楽用品	2か月連続の実質増加
その他の消費支出	70,171	1.3	(0.0)	(0.00)	<同水準>	
消 費 支 出 (除 く 住 居 等)	285,693	4.2	2.9	-		2か月連続の実質増加

：「住居」のほか、「自動車等購入」、「贈与金」、「仕送り金」を除いている。また、実質化には消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）を用いた。

注1 「摘要」欄は、消費支出の実質増減率への寄与度の大きい項目を掲載した。

2 「その他の消費支出」の（ ）内は、消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）を用いて実質化した。

消費支出の実質増減率に寄与した主な中分類項目及び品目

中 分 類

品 目

< 減少項目 >

実質寄与度

設備修繕・維持	[-1.37]	設備器具,給排水関係工事費
自動車等関係費	[-0.50]	自動車購入
交際費	[-0.24]	贈与金
魚介類	[-0.16]	まぐろ,塩さけ
野菜・海藻	[-0.10]	ほうれんそう,レタス

< 増加項目 >

教養娯楽サービス	[0.38]	国内パック旅行費,スポーツ月謝
保健医療サービス	[0.32]	他の入院料*,歯科診療代
電気代	[0.23]	
教養娯楽用品	[0.21]	テレビゲーム機,スポーツ用品
諸雑費	[0.21]	葬儀関係費

注1 主な中分類項目を寄与度順に掲載した。

2 交際費の実質化には消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）を用いた。

* 「他の入院料」とは、「出産入院料」以外の入院料をいう。

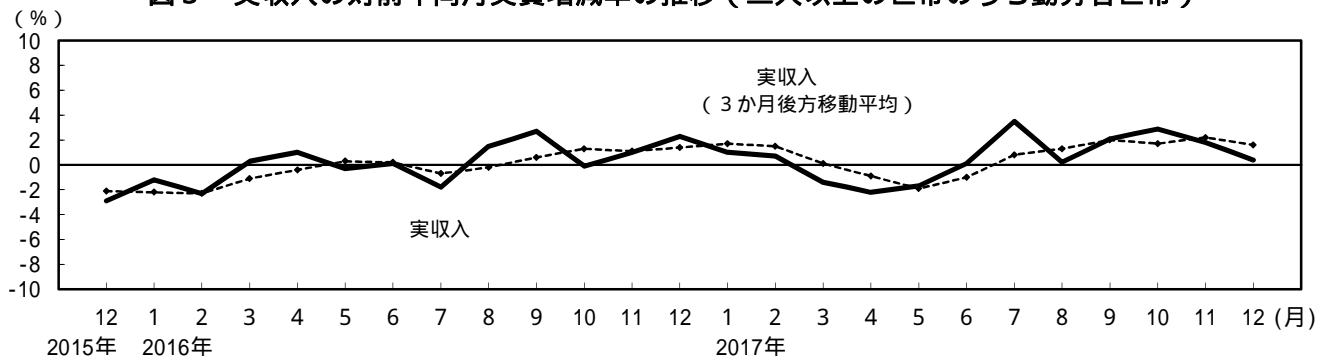
実 収 入

勤労者世帯の実収入は、1世帯当たり 940,875 円
 前年同月比 実質 0.4%の増加 名目 1.7%の増加

3 勤労者世帯の収支

(1) 勤労者世帯の実収入の推移

図3 実収入の対前年同月実質増減率の推移(二人以上の世帯のうち勤労者世帯)



		2016年	2017年											
		12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
実 収 入		2.3	1.0	0.7	-1.4	-2.2	-1.7	0.1	3.5	0.2	2.1	2.9	1.8	0.4
(参考) 3か月 後方移動平均	名 目	1.8	2.2	2.0	0.5	-0.5	-1.4	-0.5	1.3	1.9	2.8	2.4	2.9	2.3
	実 質	1.4	1.7	1.5	0.1	-0.9	-1.9	-1.0	0.8	1.3	2.0	1.7	2.2	1.6

(2) 勤労者世帯の収支の内訳

表2 収支の内訳(2017年12月 - 二人以上の世帯のうち勤労者世帯)

項 目	金 額 (円)	対前年同月増減率(%)		実質増減 率への 寄与度 (%)	備 考
		名 目	実 質		
実 収 入	940,875	1.7	0.4	-	7か月連続の実質増加
世 帯 主 収 入	743,203	0.5	-0.8	-0.59	4か月ぶりの実質減少
定 期 収 入	354,625	0.3	-1.0	-0.39	4か月ぶりの実質減少
臨時収入・賞与	388,578	0.8	-0.5	-0.20	
配 偶 者 の 収 入	117,829	13.3	11.8	1.33	3か月連続の実質増加
他の世帯員収入	12,888	-9.2	-10.4	-0.16	6か月ぶりの実質減少
非 消 費 支 出	157,821	1.6	-	-	4か月連続の増加
可 処 分 所 得	783,054	1.7	0.4	-	7か月連続の実質増加
消 費 支 出	352,076	0.8	-0.5	-	3か月ぶりの実質減少
平均消費性向(%)	45.0	(前年同月) (ポイント差) 45.4 -0.4			季節調整値でみると70.8%で、前月に比べ1.2ポイントの低下となった。

注1 「非消費支出」とは、税金や社会保険料など、世帯の自由にならない支出である。

「可処分所得」とは、実収入から非消費支出を差し引いた額で、いわゆる手取り収入のことである。

「平均消費性向」とは、可処分所得に対する消費支出の割合である。

2 実収入には、勤め先収入(世帯主収入、配偶者の収入及び他の世帯員収入)のほか、事業・内職収入、社会保障給付、財産収入などが含まれる。